

大井町環境基本計画（素案）に対する意見募集の実施結果について

意見募集期間：令和5年1月27日（金）～令和5年2月9日（木）

意見提出方法：電子メール、郵送、Fax、直接持参

意見提出人数：3名（16件）

| No. | 意見箇所 | ご意見 | 対応方針 |
|-----|-------------------------|--|---|
| 1 | | <p>全体として、フードロスの記述は新しく、また政策のまとめ方を見ると、前回よりもカーボンニュートラルに力を入れるように受け取れました。ただ具体的な施策に、目新しさがあまりないようにも思いました。基本的には従来の施策を徹底する、という理解で良いのでしょうか？</p> <p>カーボンニュートラルを早期に達成するために、町としてどのような見通しを持っておられますか？</p> | <p>大井町では、令和4年3月に町長と議会議長の連名で「大井町気候非常事態宣言」を行い、2050年までに二酸化炭素排出実質ゼロをめざすことを表明しました。</p> <p>大井町環境基本計画では、これまでの施策を徹底していくとともに、食品ロスや気候変動等の新たな課題にも対応してまいります。</p> <p>カーボンニュートラルについては、令和5年度に地球温暖化対策実行計画を策定し、達成を目指してまいります。</p> |
| 2 | 9頁 ⑭30by30 ロードマップ | Other Effective area based Conservation Measuresは、area-basedとハイフンをつけた方が良いのではないのでしょうか？細かいのですが、そちらの方が意味が通りやすいと思いました。 | ご意見のとおり、9頁に「Other Effective area-based Conservation Measures」とハイフンをつけた表記にいたします。 |
| 3 | 33頁 ①ごみの排出・処理 | グラフは内訳（生ごみ、紙類、容器包装等）の詳細がないと具体的に何をどのように減量するのかが理解しにくい。また、処理のために経費がどの程度かかるかも明記されれば廃棄物の処理の全体像がつかめる。（廃棄物処理にはお金がかかることを共有する） | 33頁に「家庭系可燃ごみの重量構成比、容積構成比のグラフと文章」を追加いたします。 |
| 4 | 34頁 ③1人1日あたりの食品ロス発生量 | <p>食品ロスについて、新たにデータが付け加えられており、参考になりました。</p> <p>食品ロス削減について、すでに町内でも町民による活動が行なわれていますが、協働についてどのようにお考えですか？</p> | 食品ロス削減に関する取り組みについては、町民や事業者の方と連携を図りながら進めてまいります。 |

| No. | 意見箇所 | ご意見 | 対応方針 |
|-----|--|---|---|
| 5 | 38 頁 ④再生可能エネルギーの導入ポテンシャル | 再生可能エネルギーの導入ポテンシャルについて、太陽光以外はゼロとなっていますが、大井町の場合、再生可能エネルギーは太陽光しか可能性がないという意味でしょうか？少し解説があると分かりやすいと思いました。 | 38 頁「表 再生可能エネルギー種別ポテンシャル」に示す再生可能エネルギーの導入ポテンシャルは、環境省が公表している「再生可能エネルギー情報提供システム (REPOS)」のデータとなります。 REPOS によると、大井町には太陽光発電、太陽熱、地中熱の導入ポテンシャルがあります。一方、風力発電、中小水力河川、地熱発電の導入ポテンシャルはゼロとなっておりますが、これは現在の技術水準や法令、土地用途等による制約が考慮されており、今後の技術革新等により増加することも考えられます。 ご意見のとおり、上記内容を記載いたします。 |
| 6 | 43 頁 (1) 町民アンケート結果の概要 ■環境問題のことについて | プラごみポイ捨ての対策は放置すると砕け散ってマイクロプラスチックとなり生き物（海や川）に影響し、やがて人間の命にもかかわることを周知する。便利で使いやすいプラスチックではあるが、その便利さが時として害になることを自覚すること。 | ご意見のとおり、プラスチックごみのポイ捨てがマイクロプラスチックや海洋プラスチックとなり、生態系等に影響を与えています。 51 頁に上記内容のコラムを記載し、周知いたします。 |
| 7 | 56 頁 2. 基本目標 環境分野 地球環境 分類 再生可能エネルギー | ポテンシャルに関連して、56 頁の再生可能エネルギーでは太陽光発電”等”と記述がありますが、今後の検討課題ということでしょうか？ | No. 5 での町の考え方の通り、大井町には太陽光発電、太陽熱、地中熱の導入ポテンシャルがあります。それらの再生可能エネルギーの導入を推進するとともに、新たな再生可能エネルギーの導入に関する調査・研究を行ってまいります。 |
| 8 | 64 頁 環境施策Ⅱ - 1 地球温暖化対策の推進 | 昨年の建築物省エネ法の改正により、新たな断熱等級が設置されるなどしましたが、庁舎や公共施設の建て替えの際は、より高い断熱等級を選ぶべきではないかと思えます。計画には特に記述がありませんでしたが、どのようなお考えですか？ | 現時点で建て替えを予定している公共施設はございませんが、今後、建て替え際には、環境法令等に従い適切な断熱等級を選定し、対応してまいります。 |

| No. | 意見箇所 | ご意見 | 対応方針 |
|-----|------------------------------------|---|---|
| 9 | 68 頁 環境施策Ⅲ - 1 ごみの減量化と資源化の推進 | <p>プラスチック減量化と表現されているが「減量」とするほうがより強調できると思う。リフューズ（断る）を心がけできるだけ自宅に持ち込まないことが減量に繋がる。レジ袋も何度も使いまわすことで減量できる。スーパーによっては容器を回収しているので利用することも奨励する。</p> <p>具体的な取り組みを進めるにはわかりやすい表現が必要である。</p> | <p>ご意見を参考にしながら、「基本目標Ⅲ 資源循環をすすめる環境負荷が少ないまち」の達成に向け、大井町環境基本計画・施策の推進を図ってまいります。</p> |
| 10 | 68 頁 環境施策Ⅲ - 1 ごみの減量化と資源化の推進 | <p>プラスチック製品や容器をできるだけ回避するにはその代替品についても提起し、企業が安易にプラスチック利用しない工夫をする。</p> <p>どちらにしても、大井町の廃棄物の実態を数字、データで示し、将来の目標を決め、途中で見直しをしながら計画を進めることが大切である。</p> <p>なお、廃棄物の減量や分別指導ができる住民組織をつくることで生活環境課の仕事を分担できるのではないのでしょうか。</p> | <p>ご意見を参考にしながら、「基本目標Ⅲ 資源循環をすすめる環境負荷が少ないまち」の達成に向け、大井町環境基本計画・施策の推進を図ってまいります。</p> |
| 11 | 68 頁 環境施策Ⅲ - 1 ごみの減量化と資源化の推進 | <p>食品ロスに関連して、ダンボールコンポストの普及と同時に、“キエーロ”のような虫がわきにくいものも導入検討されてはどうか？住宅密集地だと、ダンボールコンポストのハードルが高い人が多いのでは、、と思うので。</p> <p>※キエーロ： http://www.town.ninomiya.kanagawa.jp/kurashi_tetsuduki/kurashi/gomi/1568788760478.html</p> | <p>今後の検討の参考とさせていただきます。</p> |
| 12 | 74 頁 環境施策Ⅳ - 1 良好な生活環境の保全 | <p>マイカー利用が利用の抑制、公共交通機関の利用促進、良質な道路、公園、街並み、健康で安心安全に暮らせるまち。このあたりのテーマについて、一つひとつ個々の課題施策としてとらえるのではなく、総合的に計画してもらいたい。</p> <p>何故マイカー利用に偏るのか、何故御殿場線、富士急バスを利用し難いのか。何故歩道が十分ではないのか。移動の基本である徒歩。徒歩の移動を基本と考えて町づくりが今後できないのか。歩きやすい町になっているのか。</p> <p>マイカー＋徒歩、徒歩＋バス、徒歩＋電車。歩きやすい町を目指していかないといけないと思います。</p> <p>単純に歩道の強化を希望していると思われるかもしれませんが、町全体の徒歩導線を考えていけばいろいろな事に影響を与える施策になるのではないのでしょうか。</p> <p>歩く事での健康面にプラス、健康づくりの道にもある。またバス利用にお</p> | <p>大井町では、町にとって望ましい公共交通網のすがたを明らかにするとともに、輸送資源の総動員により地域旅客運送サービスの持続可能な提供を確保するため、「大井町地域公共交通会議」での協議を経て、「地域公共交通の活性化及び再生に関する法律」に規定する「大井町地域公共交通計画」を令和4年3月に策定し、推進を図っております。</p> <p>大井町環境基本計画では、「大井町地域公共交通計画」と連携し、「基本目標Ⅳ 健康で安全安心に暮らせるまち」の達成に向け、施策の推進を図ってまいり</p> |

| No. | 意見箇所 | ご意見 | 対応方針 |
|-----|---|---|---|
| | | <p>いても徒歩+停留所の発送で利用するのであればルートもシンプルかつ徒歩の組み合わせで使い勝手の良いやり方にできるプラスの可能性。</p> <p>次に、JR 御殿場線の存在について、その利用や使い勝手が町にとってメリットの享受があるのか正直見えていない。JR 東海管轄の事情もあり IC カード利用等含め使いやすい交通機関とは言い難い。</p> <p>現存する JR 2 駅利用じゃ先 10 年はどうあるべきなのか、線路踏切の狭さ、線路下を通る道路の狭さもある。</p> <p>現状をポジティブによりよく共存し改善していくのか、新案として大井公園付近に駅の統合プランなど協議できないのかなど 10 年先を見据え方向性を計画してほしい。今のままでは利便性が上がるとは思えない。結果マイカー利用に依存するので。</p> <p>最後に、平野部と山間部のつながりを良くする道路もしくは歩きやすい歩道計画などについて過去の町長時代の骨子に大井松田 IC 付近からビオトピア付近に道路を作る計画があったりしたが、今後 10 年の具体的計画に入れられないか。</p> <p>せっかくの自然資源があるのに、平野部と山間部のつながりが弱く、結果マイカー利用で行くなどの選択になりがち。</p> <p>徒歩移動でもいきやすい平野部、山間部のつながりを作る事はプラスになると思います。</p> <p>自然資源豊かなエリアとのつながりがスムーズになれば、町の魅力が増えると考えています。</p> <p>健康づくりルートにもメリットあるとも思います。</p> | <p>ます。</p> <p>また、上位・関連計画の見直しの際に検討の参考とさせていただきます。</p> |
| 13 | 78 頁 環境施策 V - 1 環境に関心のある 人材の育成 | <p>出前講座は実際にごみ減量に取り組んでいる町民等にも講師として活躍してもらおう。例えば、段ボールコンポストの実践者等イベントの後のごみ処理はごみの量を見える形で記録する。ごみ拾いキャンペーン時も集めたごみは空き缶何個、ペットボトルいくつというように数で捉えることでごみ量を把握して減量の課題のきっかけをつくる。</p> | <p>ご意見を参考にしながら、「基本目標 V 環境パートナーシップの形成をはかるまち」の達成に向け、大井町環境基本計画・施策の推進を図ってまいります。</p> |
| 14 | 78 頁 環境施策 V - 1 環境に関心のある 人材の育成 | <p>環境展は参加者が少なくなっているが、工夫次第でもっと有意義な内容にできると思う。今回の環境展（2022 年 11 月 23 日実施）も企業と住民のネットワークや企業間の連携を計れば、環境計画の総合的な展示ができたと思う。</p> | <p>ご意見を参考にしながら、「基本目標 V 環境パートナーシップの形成をはかるまち」の達成に向け、大井町環境基本計画・施策の推進を図ってまいります。</p> |

| No. | 意見箇所 | ご意見 | 対応方針 |
|-----|--|--|---|
| 15 | 78 頁 環境施策Ⅴ - 1 環境に関心のある 人材の育成 | 環境問題に関心を持つ住民は多いが、何をきっかけに参加できるのか模索していると思う。町はアンテナを張り巡らしてそのような人たちをどのように参加してもらうか日々考えることも必要だと思う。 | ご意見を参考にしながら、「基本目標Ⅴ 環境パートナーシップの形成をはかるまち」の達成に向け、大井町環境基本計画・施策の推進を図ってまいります。 |
| 16 | 82 頁 第 6 章 環境配慮 と行動 | 指針は計画的に実行することが大切であるが、大井町の住民が共有していないため環境に関心があっても、大井町の環境問題の取り組みや進捗状況が伝わっていない。町のイベントや会議などの機会ごとに繰り返し周知することが必要だと思う。 | ご意見を参考にしながら、環境配慮指針や大井町の環境問題の取り組みや進捗状況を記載した大井町環境行動計画（町の行動）実績報告書等を活用した周知方法を検討してまいります。 |